

趣 旨

《広域的コンセンサスに基づいた景観育成への支援》
しあわせ信州創造プラン～上伊那地域編～

《リニア中央新幹線県内駅設置を見据えた具体的なまちづくり案》
「おもてなしの」「住みたいまちへの」「地域の資源を活かす」景観づくり
上伊那地域将来ビジョン（平成26年3月上伊那広域連合公表）

伊那谷の風土・風景・風格を後世に引継ぐため
[三風の会] 広域農道をモデルライン「伊那谷風土記街道」
として独自の看板デザイン普及を推進

[行政] 山岳や農村景観が続く広域農道を「おもてなし
ルート」として広域連携による景観育成策検討

広域的な
公民連携
のための
環境整備

リニア中央新幹線開通
を見据えた景観育成

現状と課題

1 現 状

- (1) 広域農道に関し、広域連携による次の取組に着手（基準等作成中）

導入する施策		目 的
ア	広域農道を「景観重要公共施設」に指定（景観法第47条）	ガードレールやバス停等のデザインを定めて広域的に運用
イ	「沿道屋外広告物ガイドライン」を作成	共通の基準により広域的に運用
ウ	三風の会（法人）を「景観整備機構」に指定（同法第92条）	事務事業のアウトソーシング 行事共催等
エ	「おもてなしルート景観協議会」を設置（同法第15条）	沿線住民など利害関係者との協議により、コンセンサスを得る。

- (2) 三風の会の看板デザイン普及のため、連携して推進する施策的位置づけが不足
(3) 上伊那地域将来ビジョンによる「定住や人口増に結びつく景観形成」及び「地域の大きな景観資源の活用」の実現に向けた広域連携が始動

2 課 題

- (1) 全市町村の景観行政団体への移行
上伊那全体できめ細かい広域連携施策を行うため移行未済町村への後押しが必要
- (2) 広域連携施策実現のための市町村負担軽減
景観計画の変更手続や住民への周知等に要する多大な実務負担の軽減が必要
- (3) 看板デザインの誘導・是正
優良デザインや看板集合化の推進、既存不適格看板の是正促進への支援が必要

事業内容

(事業概要)

1 市町村の事務経費への補助制度を創設（H28～H32の5年間）

対象経費	内容	補助率・限度額
景観計画等策定費	景観計画やガイドライン等の策定・調査（変更を含む。）の経費	補助率 1 / 2 （1 案件25万円）
景観計画等印刷費	景観計画等の周知用パンフレット等の印刷製本費	補助率 1 / 2 （1 案件10万円）

2 看板デザイン誘導是正に対する間接補助制度を創設（H28～H39の12年間）

対象経費	内容	補助率・限度額
修景促進事業費	伊那谷風土記街道における、ガイドラインに適合させるための既存看板の除却改善又は既存看板の集合化並びに優良屋外広告物の設置に要する経費	市町村補助額の 1 / 2 （1 事業者当り40万円）

3 広域連携の取組みを継続

- (1) リニア中央新幹線開通を見据えた景観行政の連携ロードマップの作成・公表
- (2) 地域の資源を活かす景観づくりのため、眺望を保全する広域ルールを作成
- (3) 三風の会の進めるビューポイントの情報集約と連携し、ビューポイントのピクトサイン及び統一看板表示のデザインを検討
- (4) 原風景の残る地域にて「景観農業振興地域整備計画」策定を検討（景観法第55条）

(事業費) (H28)

景観計画等策定費補助	25 万円×4 市町村	100 万円	} 計 410 万円
景観計画等印刷費補助	10 万円×11 案件(5 市町村)	110 万円	
修景促進事業費補助	40 万円×5 事業者	200 万円	

期待される効果（成果目標）

1 期待される効果

- (1) 地域における広域連携並びに公民連携に係る県の支援姿勢の明確化
- (2) 三風の会の取組みが持続可能となる施策的環境を早期に創出
- (3) 施策の連携を深めることで「伊那谷風土記街道」のブランドイメージを醸成



リニア中央新幹線開通を見据えた伊那谷の景観育成

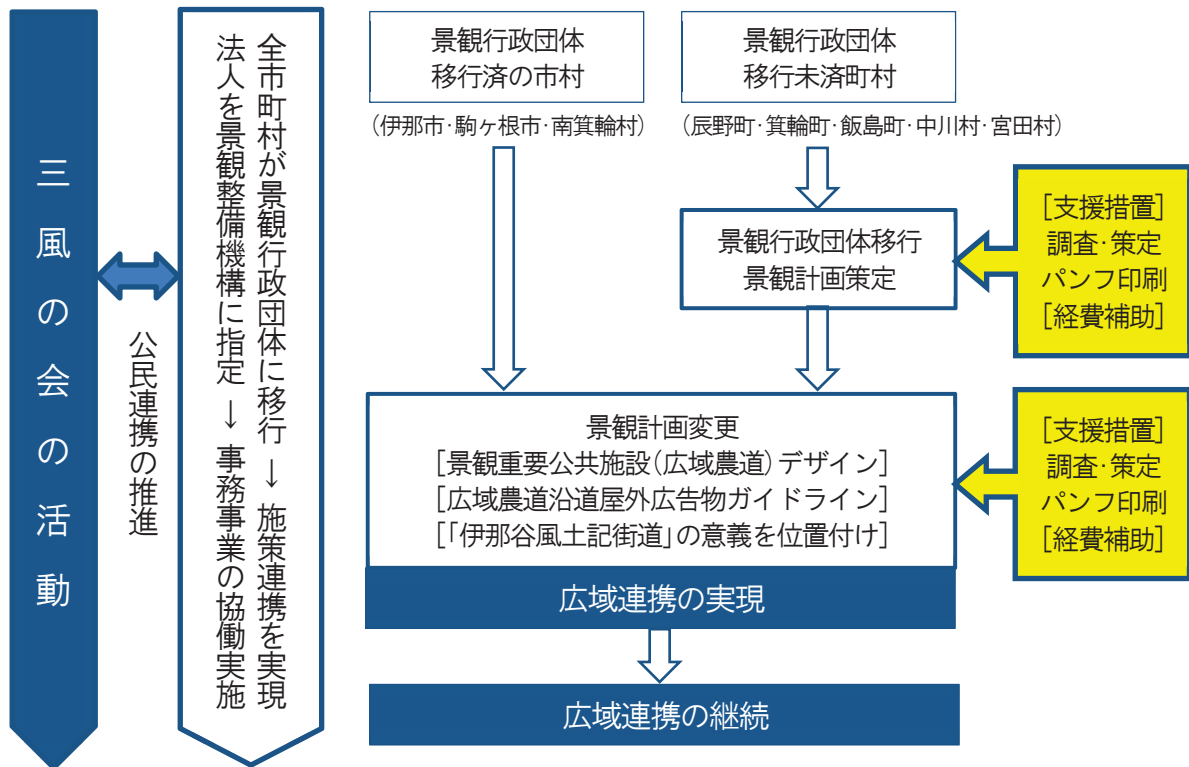
2 成果目標

項目	現在(2015)	H30(2018)	H32(2020)
景観行政団体移行市町村数	3	6	8
三風モデル看板設置数	1	30	50
禁止抑制看板除去改善件数	0	15	30

広域的な公民連携による上伊那の景観づくり
《事業内容イメージ図》

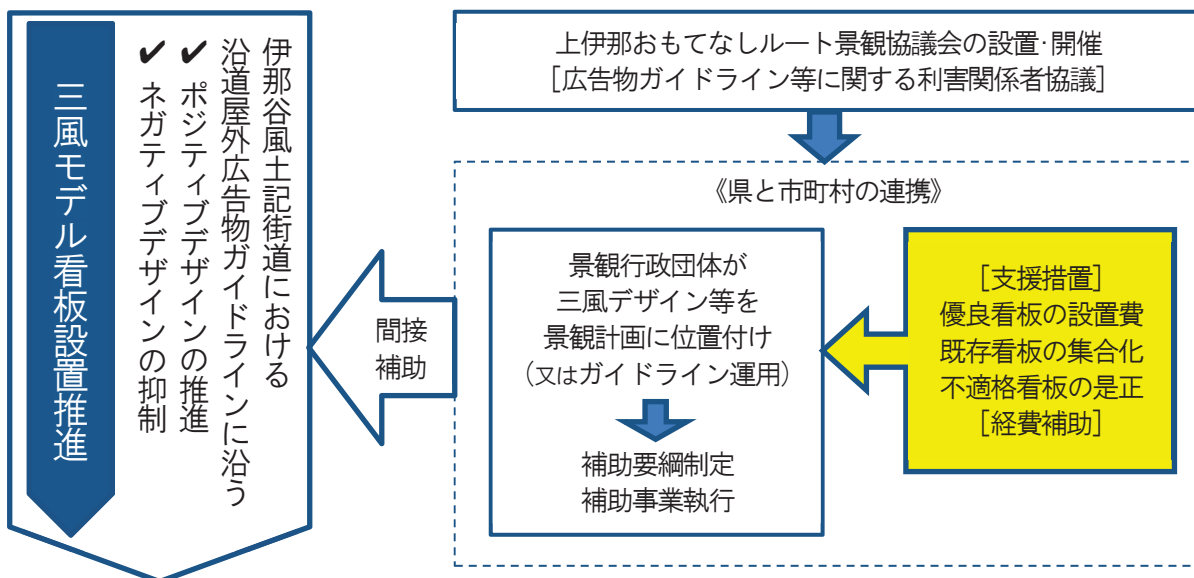
1 市町村の事務経費への補助制度を創設（H28～H32の5年間）

ソフト事業



2 看板デザイン誘導是正に対する間接補助制度を創設（H28～H39の12年間）

ハード事業

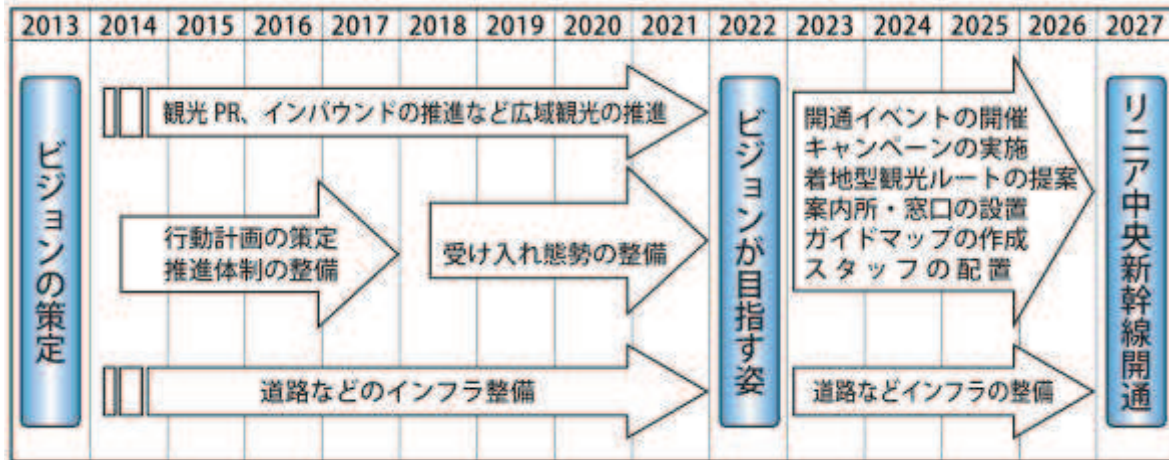


3 広域連携の取組みを継続

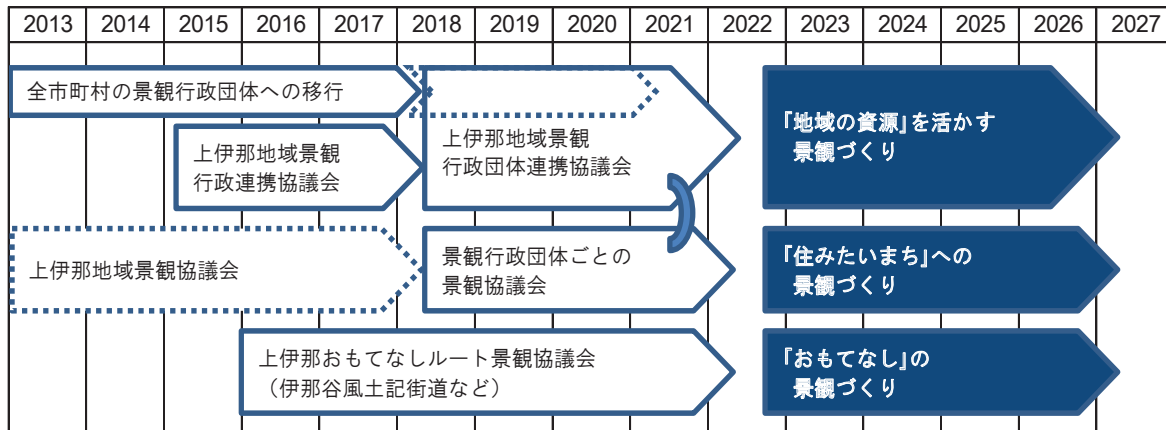
- ① 景観行政連携ロードマップ作成・公表
- ② 眺望を保全する広域ルール作成
- ③ ビューポイントのピクトサイン等検討
- ④ 景観農業振興地域整備計画の策定検討

《施策推進のスケジュールについて》

上伊那地域将来ビジョン（平成26年3月上伊那広域連合公表）による
リニア中央新幹線開通までのスケジュール



《景観行政における広域連携と公民連携のロードマップイメージ》



《三風の会の概要について》

○ 概要

伊那谷の風土・風景・風格を保全育成し、後世に引継ぐことを地域課題ととらえ、産学官のチームで平成24年に活動を開始。広域農道をモデルライン[伊那谷風土記街道]とした独自の看板デザイン普及に着手。

○ メンバー構成（平成27年7月現在）

[会長] KOA(株)代表取締役会長 向山孝一氏

[チーム] 県経営者協会上伊那支部地域活性化委員会・県テクノ財団伊那テクノバレー企画委員会

伊那商工会議所・駒ヶ根商工会議所・県商工会連合会上伊那支部

信州大学農学部准教授 上原三知氏、上伊那広域連合・市町村

[オブザーバー] 上伊那地方事務所・伊那建設事務所

○ 現在までの取組みの経過

H24年11月 三風の会発足

H25年1月 広域農道沿線の現状把握を開始、自社看板棚卸しの取組開始

H26年4月 日通看板・集合看板モデル検討

H27年1月 看板棚卸し中間報告、伊那谷風土記街道のための看板デザインマニュアル作成開始

H27年7月 デザインマニュアル完成、上伊那地域景観協議会で情報共有、ホームページ運用開始



趣 旨

《従来型の観光にとらわれない新たな観光戦略の展開》

しあわせ信州創造プラン～上伊那地域編～

上伊那の特性

首都圏と中京圏の間に位置し、南アルプスと中央アルプスに抱かれた「伊那バレー」

駒ヶ根高原等でのインバウンドの取組や、JICAの訓練所(JICA駒ヶ根)の活動

良質米、多品目の野菜、リンゴ・ナシ等の果樹、アルストロメリア等の花き等 多彩な農産品

地域の特性を活かし、部局横断・地域(8市町村)全体で上伊那地域を振興

現状と課題

－ 地域の課題 －

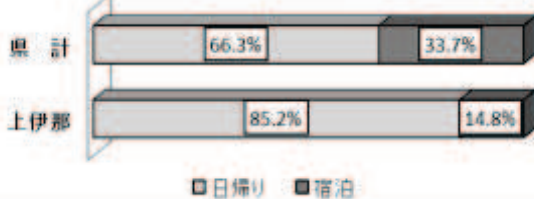
- 県外客・宿泊客が少ない、観光消費額が小さい、外国人宿泊者数が少ない
- 貸切バス規制強化によるバスツアーの減少
- 農家の高齢化、耕作放棄地の増加
- 山岳観光環境・安全対策の整備

－ 将来の好材料 －

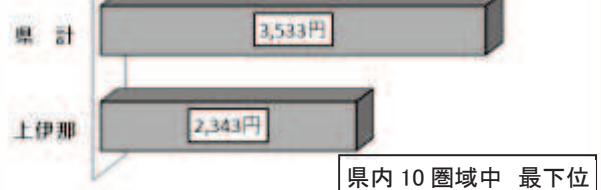
- 「昇竜道」による外国人観光客の増加
- 県立公園の見直し
- JICA駒ヶ根の機能拡充
- リニア中央新幹線・三遠南信自動車道 開通による交流人口の増加

【宿泊客の割合】 H26

県内 10 圏域中 最下位



【一人1日当たりの観光消費額】 H26



事業内容

1 山岳高原観光の環境整備・拠点づくり

(1) 南アルプス戸台登山ステーション化への支援(戸台を南アルプスの北の玄関口に)

- ・ 戸台登山ステーションのPR支援
 - （伊那市でJR東日本「茅野駅」、JR東海「木曾福島駅」からの直行バス運行
 - （鉄道とバスの連携により大都市圏からアクセスUP
- ・ 南アルプス林道バス運行の安全確保

(2) 山岳地帯の環境整備に対する支援

ア 【中央アルプス】

- ・ 登山道の整備
- ・ 県立公園の見直しと国定公園化の検討
- ・ 案内標識整備等の検討
- ・ 山小屋のトイレ等整備

環境部による公園内登山道等の整備、県立公園の見直し
平成27年度開始

イ 【南 アルプス】

- ・ 3 県関係自治体統一デザインによる登山道案内標識の整備
- ・ 塩見岳の登山道新設

(3) 日本ジオパーク、ユネスコエコパーク、国立公園であるブランドカの活用

(4) 里山トレッキングコース等の活用への支援(観光地とは違う山岳高原の整備)

2 インバウンドの推進

(1) 「昇竜道」(観光庁認定「広域観光周遊ルート」)を活用した外国人観光客の誘客

ア インバウンド促進会議による誘客戦略の検討

イ 免税店の設置促進

ウ ブロガーによる観光情報の海外発信(様々なチャンネルから発信)

エ メディアトリップの促進

(2) JICA駒ヶ根を拠点とした国際交流の推進

(海外協力隊員の訓練機能に発展途上国からの研修機能を付加すること等を検討)

(3) 農家民泊を活用した外国人の誘客

3 農業と連携した滞在型観光の推進

(1) 農業体験等施設の活用促進(みはらしファーム体験館、道の駅「田切の里」)

(2) 農業体験ツアーの企画・実施(農作業から手づくりまで→宿泊・複数回来訪)

(例) ・ 山ブドウでマイワイン醸造

(ブドウ栽培作業、収穫、仕込み、ワイン講習、オリジナルラベル作成 等)

・ 地産花きを活かしたドライフラワー・プリザーブドフラワーづくり

・ 地産果実を活かしたスイーツづくり

(3) 受入施設の整備

(農家民泊の実施促進・情報発信、公共の宿との連携、空家活用、ワンストップ予約の検討)

(4) 地消地産の促進(観光客等への地産農産物等の提供)

ア 提供料理等での地産農産物利用の促進と発信

(井月さんレンピ(文化とのコラボ)やジビエ・特産野菜の活用、調理参加)

イ オリジナル品種・地産農林産物等を活用した土産・名物料理等の開発支援

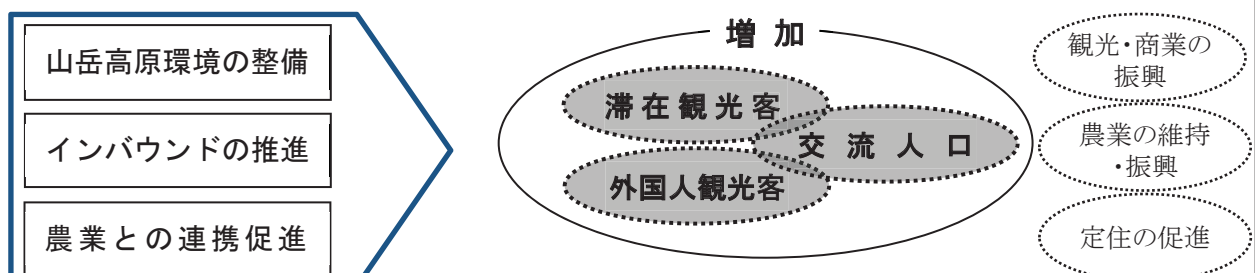
(しあわせ信州食品開発センター、地域資源製品開発支援センター、銀座 NAGANO 等の活用)

ウ 農商工連携の促進(伊那谷アグリイノベーション推進機構との連携、農商工マッチング交流会の開催)

エ 営農法人の取組への支援(オリジナル品種の生産、加工や直売など多様な事業展開を支援)

【事業費】 1 山岳高原観光の環境整備	280万円	2 インバウンドの推進	295万円
3 農業との連携	287万円	合計	862万円

期待される効果(成果目標)



上伊那の特徴を活かした第2、第3の上高地、軽井沢を！

【具体的な事業内容と事業費】

- 1 山岳高原観光の環境整備・拠点づくり 280万円
- (1) 南アルプス戸台登山ステーション化への支援
- ・銀座NAGANOでのPRイベント開催支援
- (2) 山岳地帯の環境整備に対する支援
- ・統一デザインによる登山道案内標識整備（元気づくり支援金により H26 から実施）
 - ・登山道標識整備に対する補助
 - ・山小屋のトイレ改修費補助
- 2 インバウンドの推進 295万円
- (1) 「昇竜道」を活用した外国人観光客の誘客
- ア インバウンド促進会議による誘客戦略の検討
- ・会議開催費
 - ・先進地事例講演会開催費
- イ 免税店の設置促進
- ・管内商店に対する免税制度説明会開催費
- ウ ブロガーによる観光情報の海外発信
- ・ブロガーへの謝金
 - ・観光パンフレットの多言語化への支援
- エ メディアトリップの促進
- ・参加メディアの交通費、宿泊費補助
- (2) JICA駒ヶ根を拠点とした国際交流の推進
- (3) 農家民泊を活用した外国人の誘客
- ・農家民泊開業希望者への講習会開催費
- 3 農業と連携した滞在型観光の推進 287万円
- (1) 農業体験等施設の活用促進
- ・旅行商品商談会でPR
- (2) 農業体験ツアーの企画・実施
- ・ツアー造成、実施補助
- (3) 受入施設の整備
- ・農家民泊を始めようとする農家へのノウハウの提供・改装資金補助
- (4) 地消地産の促進
- ア 提供料理等で地産農産物利用の促進と発信
- ・井月さんレシピ、ジビエ活用料理講習会開催費
- イ オリジナル品種・地産農産物等を活用した土産・名物料理等の開発支援
- ・しあわせ信州食品開発センター、地域資源製品開発センターの技術支援
 - ・開発した土産・名物料理を使った銀座NAGANOでイベント開催費補助
- ウ 農商工連携の促進
- ・伊那谷アグリイノベーション推進機構との連携
 - ・農商工マッチング交流会の開催（農政部の予算で H26 から実施）
- エ 営農法人の取組への支援
- ・オリジナル品種の生産、加工品や直売など多様な事業展開の技術支援

事業費合計 862万円